

2010年06月18日版

意見照会用

発災時 道路・公共交通機関データ
製品仕様書
(事務局素案)

平成22年6月

目次

1. 概覧.....	1
1.1. 地理空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2. 目的.....	1
1.3. 空間範囲.....	1
1.4. 時間範囲.....	1
1.5. 引用規格.....	2
1.6. 用語と定義.....	2
1.7. 略語.....	2
2. 適用範囲.....	2
2.1. 適用範囲識別.....	2
2.2. 階層レベル.....	2
3. データ製品識別.....	3
3.1. 地理空間データ製品の名称.....	3
3.2. 日付.....	3
3.3. 問合せ先.....	3
3.4. 地理記述.....	3
4. データ内容及び構造.....	3
4.1. 応用スキーマUMLクラス図.....	3
道路・公共交通被災データ応用スキーマパッケージ図.....	3
道路・公共交通被災データ応用スキーマクラス図.....	4
4.2. 応用スキーマ文書.....	8
発災時道路データパッケージ (RoadInformationActionInTheEventOfDisaster).....	8
発災時鉄道データパッケージ (RailwayInformationActionInTheEventOfDisaster).....	32
5. 参照系.....	48
5.1. 空間参照系.....	48
5.2. 時間参照系.....	48
6. データ品質.....	49
論理一貫性・書式一貫性.....	49
論理一貫性・概念一貫性.....	49
論理一貫性・定義域一貫性.....	49
7. データ製品配布.....	51
7.1. 配布書式情報.....	51
7.2. 配布媒体情報.....	57

8.メタデータ	58
8.1.メタデータの形式	58
8.2.記載項目	58
8.3.作成単位.....	58
9.その他.....	58

1. 概覧

1.1. 地理空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：
発災時道路・公共交通機関データ 製品仕様書
- 日付：平成 22 年 3 月 31 日
- 作成者：内閣府
- 言語：日本語
- 分野：防災
- 文書書式：PDF

1.2. 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.0 版に可能な限り準拠した発災時における道路・公共交通に関するデータを作成するために定義したものである。

国や公共交通機関が作成している発災時における道路や鉄道に関するデータのうち、共通のあるいは多くの機関で定義されているデータ項目を整理し、各種の利活用において利用可能となるように体系づけたものである。

本製品仕様書は、行政や公共交通機関において作成される発災時の道路・公共交通に関連するデータについて、内部における保管・共有や、外部への提供等を行う際に利用されることを期待する。

1.3. 空間範囲

本製品仕様書が対象とする空間範囲は以下のとおりとする。

- 地理要素：地理境界ボックス 範囲参照系：JGD2000/ (B,L)
- 東側境界経度：140.852 西側境界経度：139.688
南側境界緯度：35.739 北側境界経度：36.945

1.4. 時間範囲

期間の始まり：2010-04-01

1.5. 引用規格

地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月
道路通信標準 (Ver 1.05) 平成 18 年 2 月
行政内部において道路交通情報を管理するシステムの仕様書類
公共交通機関が公開している運行情報

1.6. 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

■地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 附属書 5 (規定) 定義

■災害リスク情報等に係る用語辞書 ※

※道路・公共交通被災に係る用語の意味は、各機関において異なっている。具体的な用語の意味は、「災害リスク情報等に係る用語辞書」を参照するものとする。

災害リスク情報等に係る用語辞書の URL : <http://202.214.27.244/smw/sample/>

1.7. 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

■ JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards

■ JMP Japan Profile for Geographic Information Standards

■ UML Unified Modeling Language

2. 適用範囲

2.1. 適用範囲識別

道路・公共交通被災データ製品仕様書適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1. 地理空間データ製品の名称

発災時道路・公共交通機関データ製品仕様書

3.2. 日付

2010-03-31

3.3. 問合せ先

内閣府（防災担当）

電話：

FAX：

Email：

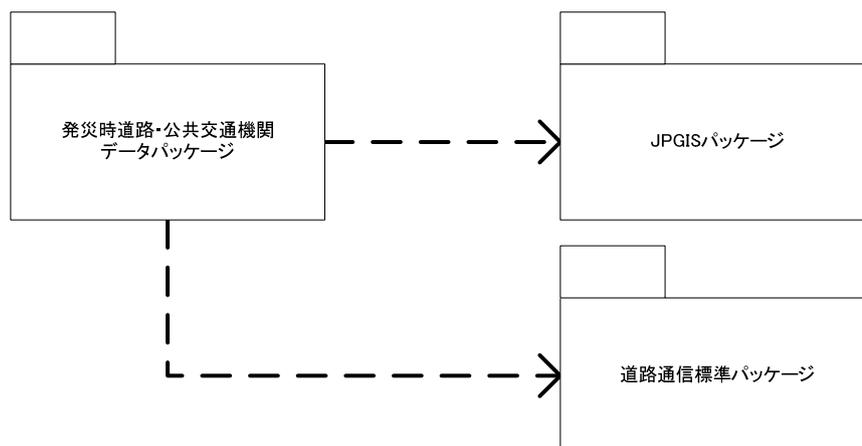
3.4. 地理記述

日本全国

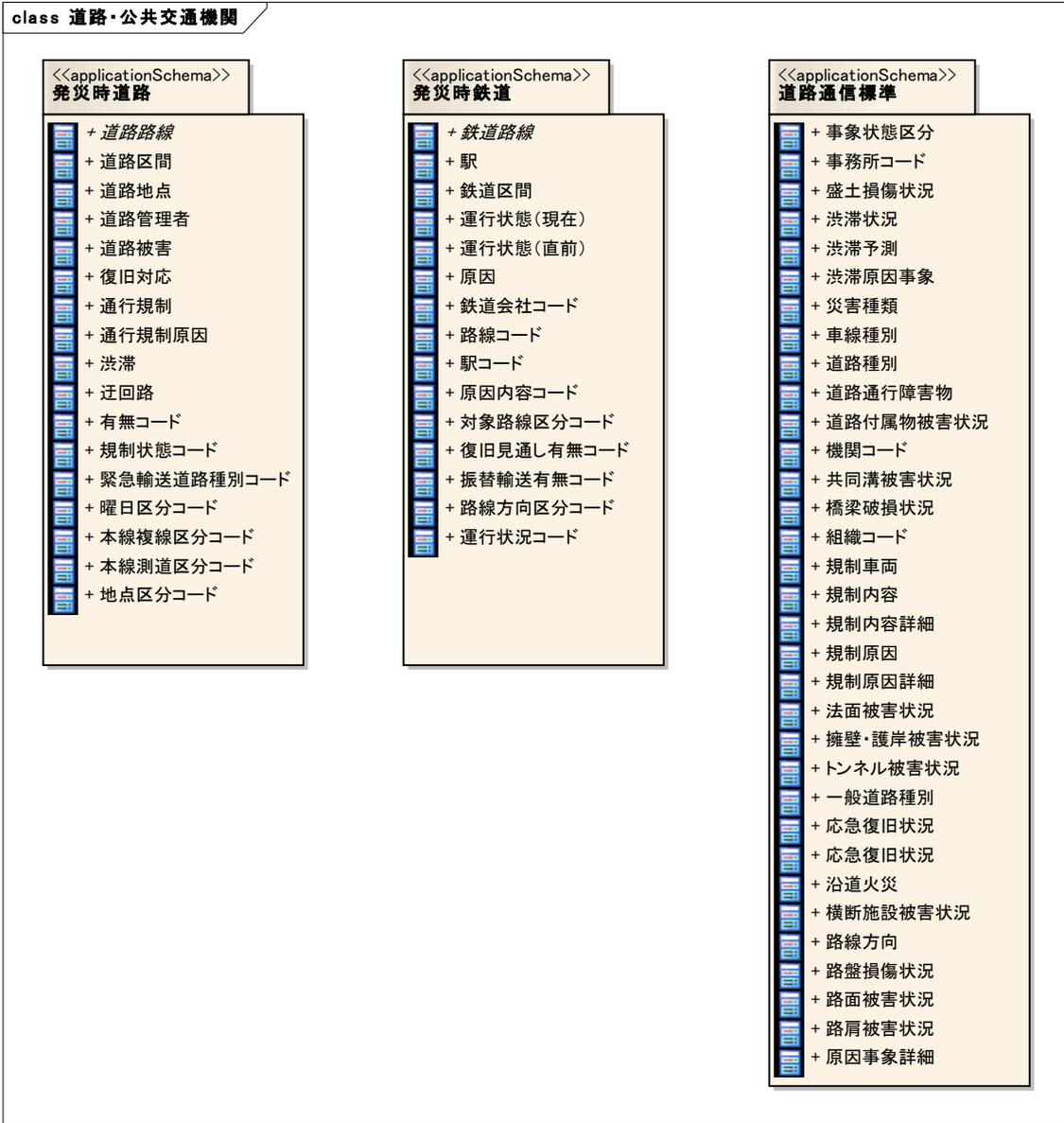
4. データ内容及び構造

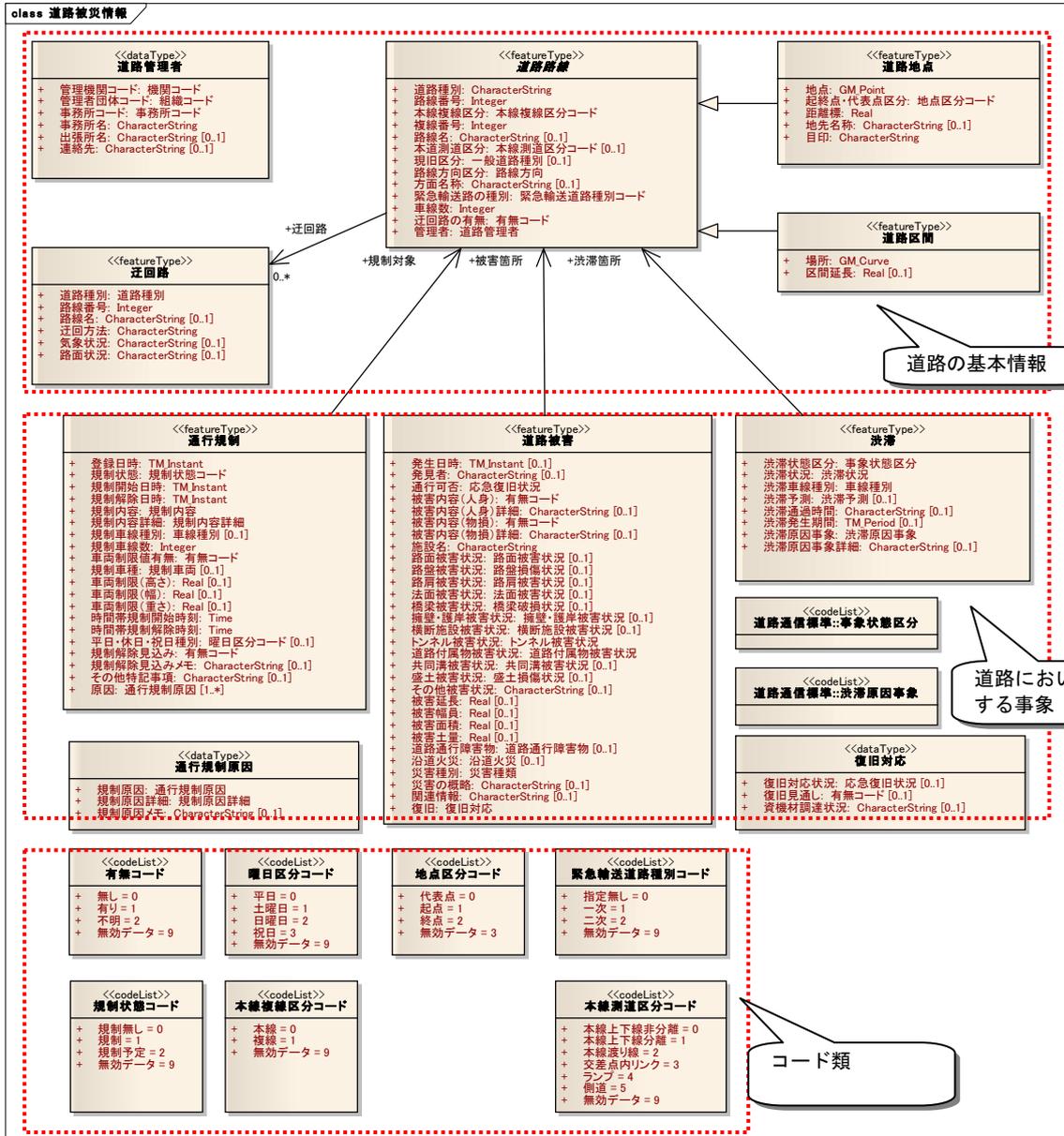
4.1. 応用スキーマ UML クラス図

道路・公共交通被災データ応用スキーマパッケージ図



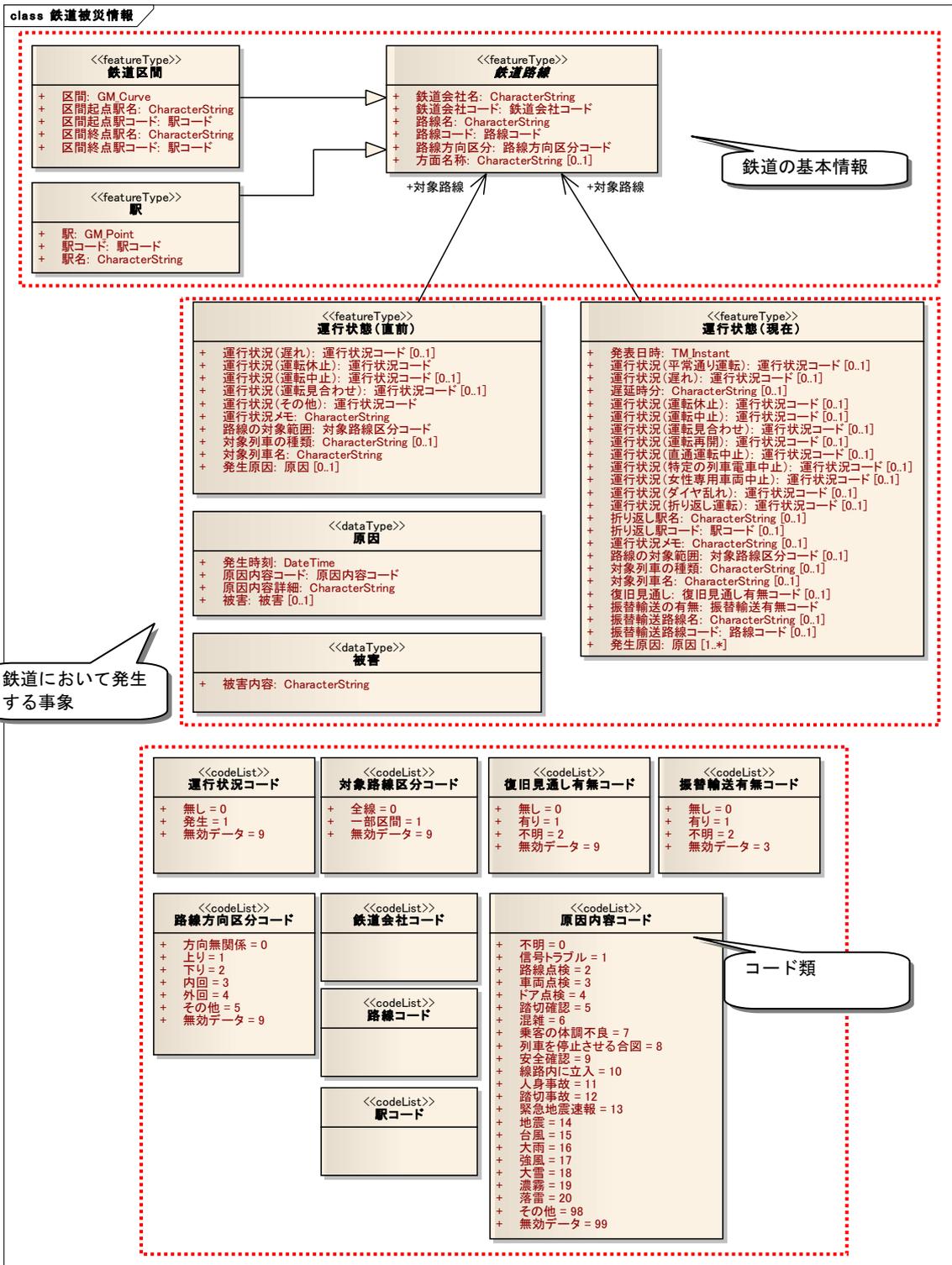
道路・公共交通被災データ応用スキーマクラス図





【解説】

- 発災時道路データは、“発災時道路”パッケージによって構成される。
- 発災時道路パッケージは“道路路線”、“道路区間”、“道路地点”、“迂回路”、“道路管理者”といった道路の基本的な情報に対して、“道路被害”、“通行規制”、“洪水”など道路に対して発生する事象を関連づける構成としている。
- コードについては“規制状態コード”等、道路通信標準に定義されているコード体系を基本的に参照し、同標準に未定義のコードのみパッケージ内に定義している。



【解説】

- 発災時鉄道データは、“発災時鉄道”パッケージによって構成される。
- 発災時道路パッケージと同様に、発災時鉄道パッケージは“鉄道路線”、“鉄道区

間”、“駅”といった道路の基本的な情報に対して、“運行状態”、“原因”、“被害”など鉄道に対して発生する事象を関連づける構成としている。

- コードについては鉄道各社が公開している運行情報から整理しているが、内容については今後の検討を踏まえ随時見直していくこととする。
- 特に、鉄道会社コードや路線コード等の未定義のコードについては、全国的かつ公的なコード体系の有無や標準的に用いられている体系等について整理が必要と考えている。

4.2. 応用スキーマ文書

発災時道路データパッケージ (RoadInformationActionInTheEventOfDisaster)

定義

災害発生時及び発生後の道路に係る情報を発災時道路データとして定義したパッケージ。

対象地物

道路被害、復旧対応、通行規制、通行規制原因、渋滞、迂回路、道路管理者、道路路線、道路区間、道路地点

注意事項

道路被害 (DisasterDamageOnRoad)

定義

災害によって道路に発生した被害情報を定義したクラス。

上位クラス :

抽象/具象区分 : 抽象地物

属性

発生日時[0..1]: DateTime

被害の発生日時。

<取得基準>

年月日は西暦、時間は日本標準時から取得する。

発見者[0..1]: CharacterStrings

被害の発見者。

通行可否: 応急復旧状況

道路の通行可否。

<取得基準>

道路通信標準 (復旧・措置状況) の定義に従う。

{ 無し(0),通行止め(1), 通行規制(2) , 無効データ(9)}

被害内容（人身）：有無コード

人身被害の有無。

< 取得基準 >

有無コードから選択する。

{ 無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

被害内容（人身）詳細[0..1]: CharacterStrings

人身被害に関する詳細情報を示したテキスト情報。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

被害内容（物損）：有無コード

物損被害の有無。

< 取得基準 >

有無コードから選択する。

{ 無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

被害内容（物損）詳細[0..1]: CharacterStrings

物損被害に関する詳細情報を示したテキスト情報。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

施設名[1]: CharacterStrings

被害を受けた施設の名称。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

路面被害状況[0..1]: 路面被害状況

路面の被害状況。

< 取得基準 >

道路通信標準（路面被害状況）の定義に従う。

{クラックの変形(1),陥没(2),局所的な盛上がり(3),目地縁部の破損(4),段差(5),土砂(6),落石(7),浸水(8),i 無効データ(9)}

路盤被害状況[0..1]: 路盤損傷状況

路盤の大きな隆起、崩壊、流出など被害状況。

< 取得基準 >

道路通信標準（路盤損傷状況）の定義に従う。

{ 未入力(0),崩壊(1),流出(2),隆起(3) , 無効データ(9) }

路肩被害状況[0..1]: 路肩被害状況

路肩の被害状況を示す

<取得基準>

道路通信標準（路肩被害状況）の定義に従う。

{クラックの変形(1),陥没(2),段差(3),無効データ(9)}

法面被害状況[0..1]: 法面被害状況

法面の被害状況を示す

<取得基準>

道路通信標準（法面被害状況）の定義に従う。

{クラック(1),崩壊(2),落石(3),浮石(4),保護工損(5),排水工破損(6),落石防止工破損(7),その他法面に設置された施設破損(8),流出(9),無効データ(99)}

橋梁被害状況[0..1]: 橋梁破損状況

道路橋の破損状況。

<取得基準>

道路通信標準（橋梁破損状況）の定義に従う。

{床版コンクリート亀裂(1),橋面舗装の盛上がり(2),地覆亀裂(3),高欄破損(4),伸縮継手溶接箇所破損(5),伸縮継手の変形亀裂(6),主構部の変曲・ねじれ(7),主構部切損・亀裂(8),コンクリート桁のクラック(9),下部工破損(10),下部工沈下傾斜(11),その他添加物（占有物件）破損(12),落橋(13),橋面開き(14),橋面段差(15),無効データ(99)}

擁壁・護岸被害状況[0..1]: 擁壁・護岸被害状況

擁壁・護岸の被害状況。

<取得基準>

道路通信標準（擁壁・護岸被害状況）の定義に従う。

{擁壁のクラック(1),擁壁の目地切れ(2),擁壁のはらみ出し(3),擁壁の滑動(4),護岸の背面土砂のクラック空隙(5),沈下移動(6),無効データ(9)}

横断施設被害状況[0..1]: 横断施設被害状況

横断施設の被害状況。

<取得基準>

道路通信標準（横断施設被害状況）の定義に従う。

{横断歩道橋の桁・支柱の異常(1),横断歩道橋の桁継手部の破損(2),横断歩道橋の基礎の異常沈下(3),地下横断歩道の異常(4),地下横断歩道の排水ポンプの異常(5),無効データ(9)}

トンネル被害状況[0..1]: トンネル被害状況

トンネルの被害状況。

<取得基準>

道路通信標準（トンネル被害状況）の定義に従う。

{覆工照明機器等の破損(1),覆工の亀裂(2),漏水等の異常(3),門及び坑門付近

斜面の崩壊(4),換気装置の破損(5),照明設備の破損(6),非常用施設の破損(7),
覆面崩壊(8),無効データ(9)}

道路付属物被害状況[0..1]: 道路付属物被害状況

道路付属物の被害状況。

< 取得基準 >

道路通信標準（道路付属物被害状況）の定義に従う。

{照明・標識等のポール・支柱のわん曲(1),灯具取付部の破損(2),自転車駐車場の倒壊・亀裂(3),無効データ(9)}

共同溝被害状況[0..1]: 共同溝被害状況

共同溝の被害状況。

< 取得基準 >

道路通信標準（共同溝被害状況）の定義に従う。

{躯体の亀裂(1),継手部漏水(2),マンホール換気口の異常(3),その他排水、換気、照明、配電設備等の破損(4)、無効データ(9)}

盛土被害状況[0..1]: 盛土損傷状況

盛土の崩壊、流失など被害状況。

< 取得基準 >

道路通信標準（盛土損傷状況）の定義に従う。

{未入力(0),崩壊(1),流出(2),無効データ(9)}

その他被害状況[0..1]: CharacterStrings

その他の被害状況。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

被害延長[0..1]: Real

道路被害に係わる道路延長。

< 取得基準 >

延長をメートルで取得する。

被害幅員[0..1]: Real

道路被害に係わる道路幅員。

< 取得基準 >

幅員をメートル（実数）で取得する。

被害面積[0..1]: Real

道路被害に係わる道路面積。

< 取得基準 >

面積を平方メートル（実数）で取得する。

被害土量[0..1]: Real

道路被害に係わる災害土量。

<取得基準>

土量を立方メートル（実数）で取得する。

道路通行障害物[0..1]: 道路通行障害物

道路上への建築物等の大きな倒壊による障害物の有無。

<取得基準>

道路通信標準（道路通行障害物）の定義に従う。

{ 無し(0),有り(1),無効データ(9) }

沿道火災[0..1]: 沿道火災

沿道における大規模な火災の有無。

<取得基準>

道路通信標準（沿道火災）の定義に従う。

{ 無し(0),有り(1), 無効データ(9)}

災害種別: 災害種別

道路に関する災害の種類。

<取得基準>

道路通信標準（災害種別）の定義に従う。

{詳細なし(0),落石(1),土砂崩れ(2),倒木(3),道路損傷(4),道路滞水/冠水(5),道路陥没(6),路肩欠落(7),道路損壊(8),停電(9),落雷(10),ガス爆発(11),ガス漏れ(12),沿道火災(13),路肩等火災(14),浸水(15),土石流(16),火砕流(17),噴火(18),津波(19),道路決壊(20),橋決壊(21),堤防決壊(22),法面決壊(23),災害(24),その他(25),不明(26),無効データ(99)}

災害の概略[0..1]: CharacterStrings

災害情報の概略。（被害をもたらした災害の名称など）

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連情報[0..1]: CharacterStrings

道路被害に関するその他の特記事項、備考。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

復旧対応 (EmergencyRestoration)

定義

道路被害の復旧対応に関する情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

属性

復旧対応状況[0..1]: 応急復旧状況

応急復旧時の復旧作業実施状況。

<取得基準>

道路通信標準（応急復旧状況）の定義に従う。

{ 未着手(0),工事中(1),工事完了(2),無効データ(9)}

復旧見通し[0..1]:有無コード

復旧の見通しに関するメモ。

<取得基準>

有無コードから選択する。

{ 無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

資機材調達状況[0..1]: CharacterStrings

資機材調達状況に関するメモ。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

通行規制 (TrafficRestriction)

定義

道路の通行規制に関する情報。

上位クラス：

抽象/具象区分： 抽象地物

属性

登録日時: DateTime

通行規制情報を登録した日時。

<取得基準>

年月日は西暦、時間は日本標準時から取得する。

規制状態: 規制状態コード

交通規制の状況

<取得基準>

規制状態コードから選択する。

{ 規制無し(0)、規制(1)、規制予定(2)、無効データ(9)}

規制開始日時: DateTime

規制を開始した日時。

<取得基準>

年月日は西暦、時間は日本標準時から取得する。

規制解除日時: DateTime

規制を解除した日時。

<取得基準>

年月日は西暦、時間は日本標準時から取得する。

規制内容: 規制内容

交通規制の大枠の内容。

<取得基準>

道路通信標準 (規制内容) の定義に従う。

{規制なし(0),通行止(1),右左折規制(2),速度規制(3),車線規制(4),片側規制(5),チェーン規制(6),オンランプ規制(7),大型通行止め(8),移動規制(9),オフランプ規制(10),幅員減少(12),通行注意(13),その他(97),不明(98),無効データ(99) }

規制内容詳細: 規制内容詳細

「規制内容」の詳細。

<取得基準>

道路通信標準（規制内容詳細）の定義に従う。

{(0)詳細なし,(101)進入禁止,(102)冬期通行止,(103)路肩通行止,(104)夜間通行止,(105)時間通行止,(106)側道通行止,(107)ランプ通行止,(201)右折禁止,(202)左折禁止,(203)直進禁止,(204)右左折禁止,(301)10キロ規制,(302)20キロ規制,(303)30キロ規制,(304)40キロ規制,(305)50キロ規制,(306)60キロ規制,(307)70キロ規制,(308)80キロ規制,(309)90キロ規制,(310)100キロ規制,(311)110キロ規制,(312)120キロ規制,(313)130キロ規制,(314)徐行,(315)140キロ規制,(401)1車線規制,(402)2車線規制,(403)3車線規制,(404)4車線規制,(405)5車線規制,(406)6車線規制,(407)7車線規制,(408)8車線規制,(409)追い越し車線規制,(410)全車線規制,(411)登坂車線規制,(412)路肩規制,(413)走行1,(414)走行2,(415)走行1+走行2,(416)走行2+追い越し,(417)登坂+走行1,(418)移動規制,(419)側道車線規制,(501)片側交互通行,(502)片側通行,(503)対面通行,(601)チェーン携行,(602)チェーン必要,(603)チェーン装着,(604)滑り止め携行,(605)滑り止め必要,(606)滑り止め装着,(700)入口閉鎖,(701)入り口制限,(801)大型車通行止め,(802)大型特殊通行止め,(803)大型貨物通行止め,(901)路肩寄り規制,(902)センタ寄り規制,(1001)オフランプ規制,(1301)ランプ通行注意,(1302)側道通行注意,(9800)不明,(9900)無効データ}

規制車線種別[0..1]: 車線種別

路肩、登坂、走行車線、追い越し車線などの車線種別。

<取得基準>

道路通信標準（車線種別）の定義に従う。

{路肩(0),登坂(1),第一走行(2),第二走行(3),第三走行(4),第四走行(5),第五走行(6),第六走行(7),追越し車線(8),全車線(9),その他(10),予備(11),第七走行車線(12),第八走行車線(13),無効データ(99)}

規制車線数: Integer

規制対象の車線数。

<取得基準>

片方向のみの車線規制の場合は、方向別の総車線数、両方向の車線規制の場合は、両方向の車線数の合計を（1～99）の整数で取得する。

車両制限値有無: 有無コード

車両制限の有無。

<取得基準>

有無コードから選択する。

{ 無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

規制車種[0..1]: 規制車両

通行できない車両の車種。

< 取得基準 >

道路通信標準（規制車両）の定義に従う。

{大型車通行止(0)、大型特殊通行止(1)、大型貨物通行止(2)、全車通行止(3)、
無効データ(9)}

車両制限（高さ）[0..1]: Real

規制対象車両の制限高さ。

< 取得基準 >

制限する高さをメートル（実数）で取得する。

車両制限（幅）[0..1]: Real

規制対象車両の制限幅。

< 取得基準 >

制限する幅をメートル（実数）で取得する。

車両制限（重さ）[0..1]: Real

規制対象車両の制限重さ。

< 取得基準 >

制限する重さをトン（実数）で取得する。

時間帯規制開始時刻: Time

時間帯規制の開始時刻。

< 取得基準 >

時間は日本標準時から取得する。

時間帯規制解除時刻: Time

時間帯規制の解除時刻。

< 取得基準 >

時間は日本標準時から取得する。

平日・休日・祝日種別[0..1]: 曜日区分コード

平日、土曜日、日曜日、祝日の別。

< 取得基準 >

曜日区分コードから選択する。

{ 平日(0)、土曜日(1)、日曜日(2)、祝日(3)、無効データ(9)}

規制解除見込み:有無コード

規制解除の見込み。

< 取得基準 >

有無コードから選択する。

{ 無し(0)、有り(1)、不明(2)、無効データ(9)}

規制解除見込みメモ[0..1]: CharacterString

解除見込み日時など解除見込みに関する補足情報。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

その他特記事項[0..1]: CharacterString

規制内容に関するメモ（関連事象や交通状況、補足説明など）。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

通行規制原因 (TrafficRestrictionCause)

定義

通行規制を行うこととなった原因事象に関する情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

属性

規制原因: 規制原因

通行規制を行なう大枠の原因事象。

<取得基準>

道路通信標準（規制原因）の定義に従う。

{原因事象無し(0),事故(1),火災(2),故障車(3),路上障害物(4),工事(5),作業(6),行事等(7),気象条件(8),災害等(9),地震警戒宣言(10),その他(14),不明(15),雨(16),雪(17),霧(18),濃霧(19),凍結(20),横風(21),強風(22),暴風(23),地震(24),落下物(25),渋滞(26),工事予定(27),雷雨(28),風雨(29),暴風雨(30),積雪(31),吹雪(32),地吹雪(33),高波(34),高潮(35),橋決壊(36),路肩決壊(37),路面決壊(38),道路決壊(39),堤防決壊(40),法面決壊(41),除雪作業(42),津波(43),警報(44),注意報(45),事前通行規制(46),長期工事(47),爆発(48),無効データ(99)}

規制原因詳細: 規制原因詳細

通行規制の原因事象に関する詳細の内容。

<取得基準>

道路通信標準（規制原因詳細）の定義に従う。

{ 1:自然渋滞、2:交通集中渋滞、3:物見・脇見渋滞、101:車両事故、102:人身事故、103:物損事故故障車、104:横転事故、105:衝突事故、106:追突事故、107:接触事故、108:乗り上げ事故、109:突破事故、110:横転転覆事故、111:転落事故、112:施設接触・衝突事故、201:車両火災、202:路面火災、203:中央分離帯火災、204:トンネル火災、205:路肩火災、206:沿道火災、207:斜面火災、208:法面火災、209:道路脇施設火災、301:パンク車両、401:落下物、402:荷崩れ、403:散乱物、404:流出物、405:オイル漏れ、406:道路障害、407:人、408:動物、501:電気工事、502:ガス工事、503:水道工事、504:舗装工事、505:歩道工事、506:電話工事、507:地下鉄工事、508:下水道工事、509:法面工事、510:架橋工事、511:道路工事、512:造園工事、513:標識工事、514:ガードレール工事、515:交通安全施設工事、

516:交通管理施設工事、517:遮音壁工事、518:事故復旧工事、519:災害工事、520:トンネル内設備工事、521:洞門工事、522:照明設備工事、523:レーンマーク工事、524:道路施設工事、525:集中工事、526:工事予定、527:長期工事、528:道路改良工事、529:交差点工事、530:橋梁工事、531:維持工事、532:修繕工事、533:防護柵工事、534:歩道橋工事、535:共同溝工事、536:電線共同溝工事、537:情報ボックス工事、538:地下横断歩道工事、539:地下埋設物工事、540:防災工事、541:スノーシエット工事、542:情報板工事、543:塗装工事、544:通信工事、545:鉄道工事、546:高速道路工事、547:植栽工事、548:災害復旧、549:トンネル工事、550:除雪工事、601:道路施設清掃作業、602:樹木の伐採、603:植栽作業、604:除草作業、605:除雪作業、606:凍結防止剤散布作業、607:法面作業、608:排水作業、0609:橋架補修作業、0610:トンネル内清掃点検、0611:照明設備清掃点検、0612:レーンマーク作業、0613:低速車作業、614:点検作業、615:清掃作業、616:調査・点検、701:御警衛、702:催し物、703:パレード、704:祭礼、705:デモ、706:歩行者天国、707:マラソン、708:博覧会、709:警備、710:国賓来日に伴う警備、801:雪、802:風雪、803:大雪、804:吹雪、805:雪崩、806:積雪、807:凍結、808:強風、809:横風、810:霧、811:雷、812:シャーベット、813:圧雪、814:雷雨、815:雨、816:風雨、817:大雨、818:台風、819:洪水、820:河川氾濫、821:波浪、822:高潮、823:高波、824:越波、825:津波、826:噴火、827:土石流、828:決壊、829:地震、830:地吹雪、831:濃霧、832:暴風、833:暴風雨、834:警報、835:注意報、836:飛砂、901:土砂崩れ、902:落石、903:道路冠水、904:冠水、905:道路陥没、906:道路損壊、907:倒木、908:ガス爆発、909:ガス漏れ、910:停電、911:落雷、912:橋決壊、913:路面決壊、914:路肩決壊、915:堤防決壊、916:法面決壊、917:爆発、918:事前通行規制、1000:不明、9999:無効データ }

規制原因メモ[0..1]: `CharacterString`

規制原因に関するメモ(地震の震度等原因の度合い、事故車両の車種、台数、被害額等)。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

渋滞 (TrafficJam)

定義

道路の従来に関する情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

属性

渋滞状態区分: 事象状態区分

渋滞の状況。

<取得基準>

道路通信標準（事象状態区分）の定義に従う。

{詳細無し(0)、予定(1)、予想(2)、発生中(3)、終了(4)、無効データ(9)}

渋滞状況: 渋滞状況

現状の渋滞状況を示す。

<取得基準>

道路通信標準（渋滞状況）の定義に従う。

{渋滞なし(1),自由流(2),流れが悪い(3),渋滞中(4),混雑(5),断続渋滞(6), 無効データ(9)}

渋滞車線種別: 車線種別

路肩、登坂、走行車線、追い越し車線などの車線種別。

<取得基準>

道路通信標準（車線種別）の定義に従う。

{路肩(0),登坂(1),第一走行(2),第二走行(3),第三走行(4),第四走行(5),第五走行(6),第六走行(7),追越し車線(8),全車線(9),その他(10),予備(11),第七走行車線(12),第八走行車線(13),無効データ(99)}

渋滞予測[0..1]: 渋滞予測

渋滞の変化予測。

<取得基準>

道路通信標準（渋滞予測）の定義に従う。

{伸びる（伸びている）(1),縮む（縮んでいる）(2),無効データ(9)}

渋滞通過時間[0..1]: CharacterString

渋滞区間の通過時間。

渋滞発生期間[0..1]: TM_Period

渋滞の発生日時と終了日時。

< 取得基準 >

時間は日本標準時から取得する。

渋滞原因事象: 渋滞原因事象

渋滞の発生原因。

< 取得基準 >

道路通信標準（渋滞原因事象）の定義に従う。

{詳細なし(0),交通集中(1),事故(2),工事(3),気象(4),災害(5),火災(6),故障車(7),
路上障害物(8),見物脇見(9),交通規制(10),通行止(11),作業(12),行事等(13),地
震警戒宣言(14),道路障害物(15),その他(97),不明(98),無効データ(99)}

渋滞原因事象詳細[0..1]: CharacterString

渋滞発生原因の詳細の内容を示したメモ。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

関連役割

迂回路 (Detour)

定義

被害区間や通行規制区間の迂回路の情報。

上位クラス :

抽象/具象区分 : 抽象地物

属性

道路種別: 道路種別

迂回路の道路種別。

<取得基準>

道路通信標準 (道路種別) の定義に従う。

{高速自動車国道(1),都市高速道路(2),一般有料道路(3),その他自動車専用道(4),一般国道指定区間(5),一般国道指定区間外(6),主要地方道(7),一般都道府県道(8),市町村道(9),その他(98),無効データ(99)}

路線番号: Integer

迂回路の路線番号。

路線名: CharacterString

迂回路の路線名称。

迂回方法: CharacterString

具体の迂回方法に関するメモ。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

気象状況[0..1]: CharacterString

迂回路の気象状況に関するメモ。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

路面状況[0..1]: CharacterString

迂回路の路面状況に関するメモ。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

道路管理者 (RoadAdministrator)

定義

道路管理者に関する情報。

上位クラス：

抽象/具象区分： 抽象地物

属性

管理機関コード: 機関コード

道路管理者の機関種別。

<取得基準>

道路通信標準（機関コード）の定義に従う。

{高速道路会社(10),東日本高速(11),中日本高速(12),西日本高速(13),首都高速(20),阪神高速(30),県警察(40),本四高速(50),国土交通省(60),道路公社(70),自治体(80),無効データ(98),その他(99)}

管理団体コード: 組織コード

道路管理者の組織を識別するためのコード。

<取得基準>

道路通信標準（組織コード）の定義に従う。

市区町村については、都道府県コード（JIS X 0401）（上位2桁）+市区町村コード（下位3桁）、都道府県は、都道府県コードを外部参照し（JIS X 0401）、（上位2桁）+（下位3桁は000で固定）で表す。

事務所コード: 事務所コード

道路管理者の事務所を識別するためのコード。

<取得基準>

道路通信標準（事務所コード）の定義に従う。

事務所名: **CharacterString**

道路管理者の事務所名。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

出張所名[0..1]: **CharacterString**

道路管理者の出張所名。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

連絡先[0..1]: `CharacterString`

道路管理者の連絡先。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

道路路線 (Road Route)

定義

道路の路線情報。

上位クラス：

抽象/具象区分： 具象地物

属性

道路種別: 道路種別

道路の種別。

<取得基準>

道路通信標準 (道路種別) の定義に従う。

{高速自動車国道(1),都市高速道路(2),一般有料道路(3),その他自動車専用道(4),一般国道指定区間(5),一般国道指定区間外(6),主要地方道(7),一般都道府県道(8),市町村道(9),その他(98),無効データ(99)}

路線番号: **CharacterString**

路線番号。

本線複線区分[0..1]: 本線複線区分コード

本線と複線の区分。

<取得基準>

本線複線区分コードから選択する。

{ 本線(0)、複線(1)、無効データ(9)}

複線番号[0..1]: **CharacterString**

複線番号。

路線名[0..1]: **CharacterString**

路線名称。

本道測道区分[0..1]: 本道測道区分コード

本道測道、分離・非分離の区分。

<取得基準>

本線測道区分コードから選択する。

{ 本線上下線非分離(0)、本線上下線分離(1)、本線渡り線(2)、交差点内リンク(3)、ランプ(4)、側道(5)、無効データ(9)}

現旧区分[0..1]: 一般道路種別

一般道路の現道、旧道、新道の種別。

<取得基準>

道路通信標準（一般道路種別）の定義に従う。

{詳細無し・不明(0),現道(1),旧道(2),新道(3),調査中(4)}

路線方向区分: 路線方向

車線の通行方向。

<取得基準>

道路通信標準（路線方向）の定義に従う。

{詳細なし(0),方向無関係(上下、東西、南北線)(1),上り(2),下り(3),内回り(4),外回り(5),上り（内回り）(6),下り（外回り）(7),上下(8),東行き(9),西行き(10),北行き(11),南行き(12),両方行(13),上り別線(14),下り別線(15),上り左(16),下り左(17),上り右(18),下り右(19),上り両ルート(20),下り両ルート(21),内回り左(22),外回り左(23),内回り右(24),外回り右(25),無効データ(97),その他(98),不明(99)}

方面名称[0..1]: CharacterString

方面の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

緊急輸送路の種別: 緊急輸送道路種別コード

緊急輸送道路の種別。

<取得基準>

緊急輸送道路種別コードから選択する。

{指定無し(0)、一次(1)、二次(2),無効データ(9)}

車線数: Integer

車線数。

<取得基準>

方向別の総車線数を（1～99）の整数で取得する。

迂回路の有無: 有無コード

迂回路の有無。

<取得基準>

有無コードから選択する。

{無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

関連役割

道路区間 (Road Section)

定義

道路上の特定の区間を示す情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 具象地物

属性

区間: **GM_Curve**

道路上の特定の区間の空間参照。

区間延長[0..1]: **Real**

道路上の特定の区間の延長。

<取得基準>

延長をメートル（実数）で取得する。

関連役割

道路地点 (Road Point)

定義

道路上の特定の地点に関する情報。

上位クラス :

抽象/具象区分 : 具象地物

属性

地点: **GM_Point**

道路上の特定の地点の空間参照。

起終点・代表点区分: **地点区分コード**

区間の起点・終点、代表点の区分。

<取得基準>

地点区分コードから選択する。

{代表点(0),起点(1),終点(2),無効データ(9)}

距離標: **Real**

該当する地点の KP の値。

地先名称: **CharacterString [0..1]**

該当地点の地先名。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

目印: **CharacterString**

該当地点の目印となる建物、構造物等。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

有無コード (ExistenceType)

定義

事象の有無を表すコード。

コードリスト値

0:無し

1:有り

2:不明

9:無効データ

規制状態コード (RestrictionStatusType)

定義

規制状態の区分を表すコード。

コードリスト値

0:規制無し

1:規制

2:規制予定

9:無効データ

曜日区分コード (DayType)

定義

曜日の区分を表すコード。

コードリスト値

0:平日

1:土曜日

2:日曜日

3:祝日

9:無効データ

本線複線区分コード (MainSubRouteType)

定義

本線と複線の区分を表すコード。

コードリスト値

0:本線

1:複線

9:無効データ

本道測道区分コード (LaneDivisionType)

定義

本道測道、分離・非分離の区分を表すコード。

コードリスト値

0:本線上下線非分離

1:本線上下線分離

2:本線渡り線

3:交差点内リンク

4:ランプ

5:側道

9:無効データ

緊急輸送道路種別コード (EmergencyTransportationRoadType)

定義

緊急輸送道路の種別を表すコード。

コードリスト値

0:指定無し

1:一次

2:二次

9:無効データ

地点区分コード (PointTypeClassification)

定義

地点の区分を表すコード。

コードリスト値

0:代表点

1:起点

2:終点

9:無効データ

発災時鉄道データパッケージ (RailwayInformationActionInTheEventOfDisaster)

定義

災害発生時及び発生後の鉄道に係る情報を発災時鉄道データとして定義したパッケージ。

対象地物

運行状況 (現在)、運行状況 (直前)、原因、鉄道被害、鉄道路線、鉄道区間、駅

注意事項

運行状況（現在）（CurrentRailStatus）

定義

発災後ある時点現在の鉄道運行に関する情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

属性

発表日時: DateTime

運行情報を発表した日時。

<取得基準>

年月日は西暦、時間は日本標準時から取得する。

運行状況（平常通り運転） [0..1]: 運行状況コード

運行計画通り、平常通り運転している状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（遅れ） [0..1]: 運行状況コード

遅れの発生状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

遅延時分[0..1]: Time

遅れている時間の間隔。

<取得基準>

日本標準時から取得する。

運行状況（運転休止） [0..1]: 運行状況コード

運休の発生状態。はじめ（始発もしくは始発駅）から運行を中止する状態（運転を開始しない）を表す。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（運転中止） [0..1]: 運行状況コード

運転中止の発生状態。直前まで運転していたが、途中から運転を中止した状態（運転を再開しない）を表す。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（運転見合わせ） [0..1]: 運行状況コード

遅れの発生状態。直前まで運転していたが、運転再開を待っている状態（運転再開の可能性がある）を表す。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（運転再開） [0..1]: 運行状況コード

直前まで運転を見合わせていたが、運転を再開した状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（直通運転中止） [0..1]: 運行状況コード

接続路線への直通運転を中止している状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（特定の列車の運転中止） [0..1]: 運行状況コード

特定の列車（快速、急行など）の運行を中止している状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（女性専用車両中止） [0..1]: 運行状況コード

女性専用車両の適用を中止している状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（ダイヤ乱れ） [0..1]: 運行状況コード

運行ダイヤが乱れている状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（折り返し運転）[0..1]: 運行状況コード

特定の駅、区間での折り返し運転を行っている状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

折り返し駅名[0..1]: CharacterString

折り返し運転を行っている場合の、折り返し駅の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

折り返し駅コード[0..1]: 駅コード

折り返し運転を行っている場合の、折り返し駅のコード。

<取得基準>

駅コードから選択する。

運行状況メモ [0..1]: CharacterString

運行状況に関する補足情報。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

路線の対象範囲[0..1]: 対象路線区分コード

全線・一部区間の別。

<取得基準>

対象路線区分コードから選択する。

{ 全線(0), 1 部区間(1),無効データ(9)}

対象列車の種類[0..1]: CharacterString

列車の種類。

<取得基準>

快速、急行などの種類を取得する。フリーテキストで記載する。

対象列車名[0..1]: CharacterString

該当する運行状況の対象となる列車の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

復旧見通し[0..1]: 復旧見通し有無コード

現在発生している状況の復旧の見通し。

<取得基準>

復旧見通し有無コードから選択する。

{ 無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

振替輸送の有無: 振替輸送有無コード

振替輸送の有無。

<取得基準>

振替輸送有無コードから選択する。

{ 無し(0),有り(1),不明(2),無効データ(9)}

振替輸送路線名[0..1]: `CharacterString`

振替輸送を行っている路線の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

振替輸送路線コード[0..1]: `CharacterString`

振替輸送を行っている路線のコード。

<取得基準>

路線コードから選択する。

関連役割

運行状況（直前）(BeforeRailStatus)

定義

発災後ある時点直前の鉄道運行に関する情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

属性

運行状況（遅れ） [0..1]: 運行状況コード

遅れの発生状態。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（運転休止） [0..1]: 運行状況コード

運休の発生状態。はじめ（始発もしくは始発駅）から運行を中止する状態（運転を開始しない）を表す。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（運転中止） [0..1]: 運行状況コード

運転中止の発生状態。直前まで運転していたが、途中から運転を中止した状態（運転を再開しない）を表す。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（運転見合わせ） [0..1]: 運行状況コード

遅れの発生状態。直前まで運転していたが、運転再開を待っている状態（運転再開の可能性がある）を表す。

<取得基準>

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況（その他） [0..1]: 運行状況コード

その他の運行状態。

< 取得基準 >

運行状況コードから選択する。

{ 無し(0),発生(1),無効データ(9)}

運行状況メモ [0..1]: CharacterString

運行状況に関する補足情報。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

路線の対象範囲[0..1]: 対象路線区分コード

全線・一部区間の別。

< 取得基準 >

対象路線区分コードから選択する。

{ 全線(0), 1 部区間(1),無効データ(9)}

対象列車の種類[0..1]: CharacterString

列車の種類。

< 取得基準 >

快速、急行などの種類を取得する。

対象列車名 [0..1] :CharacterString

該当する運行状況の対象となる列車の名称。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

関連役割

原因 (Cause)

定義

発災後ある時点の鉄道運行に対して、原因となった事象に関する情報。

上位クラス :

抽象/具象区分 : 抽象地物

属性

発生時刻: **DateTime**

原因事象が発生した日時。

<取得基準>

年月日は西暦、時間は日本標準時から取得する。

原因内容コード: **原因内容コード**

原因事象の内容を示すコード。

<取得基準>

原因内容コードから選択する。

{ 不明(0)、信号トラブル(1)、路線点検(2)、車両点検(3)、ドア点検(4)、踏切確認(5)、混雑(6)、振替輸送による混雑(7)、乗客の体調不良(8)、列車を停止させる合図(9)、安全確認(10)、線路内に人立ち入り(11)、人身事故(12)、踏切事故(13)、保守用作業車の事故(14)、緊急地震速報(15)、地震(16)、台風(17)、大雨(18)、強風(19)、大雪(20)、濃霧(21)、落雷(22)、無効データ(99)}

原因内容詳細: **CharacterString**

原因の内容に関する補足情報。

関連役割

鉄道被害 (RailwayDamage)

定義

運行状況に影響を及ぼした原因に伴って鉄道に発生した被害の内容。

上位クラス：

抽象／具象区分： 抽象地物

属性

被害内容: `CharacterString`

被害の内容。

< 取得基準 >

フリーテキストで記載する。

関連役割

鉄道路線 (RailwayLine)

定義

鉄道の路線情報。

上位クラス：

抽象／具象区分： 具象地物

属性

鉄道会社名: **CharacterString**

鉄道会社の名称。

鉄道会社コード: **鉄道会社コード**

鉄道会社を一意に識別するためのコード。

<取得基準>

鉄道会社コードから選択する。

路線名: **CharacterString**

路線の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

路線コード: **路線コード**

路線を一意に識別するためのコード。

<取得基準>

路線コードから選択する。

路線方向区分: **路線方向区分コード**

路線方向の区分。

<取得基準>

路線方向区分コードから選択する。

{ 方向無関係(0), 上り(1), 下り(2), 内回(3), 外回り(4), その他(5), 無効データ(9)}

方面名称[0..1]: **CharacterString**

方面の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

鉄道区間 (RailwaySection)

定義

路線上の特定の区間を示す情報。

上位クラス :

抽象/具象区分 : 具象地物

属性

区間: **GM_Curve**

路線の中の区間の空間参照。

区間起点駅名: **CharacterString**

区間の起点となる駅の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

区間起点駅コード: **駅コード**

区間の起点となる駅のコード。

<取得基準>

駅コードから選択する。

区間終点駅名: **CharacterString**

区間の終点となる駅の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

区間終点駅コード: **駅コード**

区間の終点となる駅のコード。

<取得基準>

駅コードから選択する。

関連役割

駅 (Station)

定義

路線上の駅に関する情報。

上位クラス :

抽象/具象区分 : 具象地物

属性

駅: **GM_Point**

駅の空間参照。

駅コード: **駅コード**

駅のコード。

<取得基準>

駅コードから選択する。

駅名: **CharacterString**

駅の名称。

<取得基準>

フリーテキストで記載する。

関連役割

運行状況コード (ServiceStatusType)

定義

運行状況を表すコード。

コードリスト値

0:無し

1:発生

9:無効データ

対象路線区分コード (LineSectionType)

定義

対象路線の範囲を表すコード。

コードリスト値

0:全線

1:一部区間

9:無効データ

復旧見通し有無コード (RestorationOutlookType)

定義

復旧見通しの有無を表すコード。

コードリスト値

0:無し

1:有り

2:不明

9:無効データ

振替輸送有無コード (AlternativeLineType)

定義

振替輸送の有無を表すコード。

コードリスト値

- 0:無し
- 1:有り
- 2:不明
- 9:無効データ

原因内容コード (CauseCode)

定義

振替輸送の有無を表すコード。

コードリスト値

- 0:不明
- 1:信号トラブル
- 2:路線点検
- 3:車両点検
- 4:ドア点検
- 5:踏切確認
- 6:混雑
- 7:乗客の体調不良
- 8:列車を停止させる合図
- 9:安全確認
- 10:線路内に立ち入り
- 11:人身事故
- 12:踏切事故
- 13:緊急地震速報
- 14:地震
- 15:台風
- 16:大雨
- 17:強風
- 18:大雪
- 19:濃霧
- 20:落雷
- 98:その他
- 99:無効データ

路線方向区分コード (BoundType)

定義

振替輸送の有無を表すコード。

コードリスト値

0:方向無関係

1:上り

2:下り

3:内回

4:外回

5:その他

9:無効データ

鉄道会社コード (RailwayCompanyCode)

定義

鉄道会社を表すコード。

コードリスト値

(仕様検討中)

駅コード (StationCode)

定義

駅を表すコード。

コードリスト値

(仕様検討中)

路線コード (LineCode)

定義

路線を表すコード。

コードリスト値

(仕様検討中)

5. 参照系

5.1. 空間参照系

参照系識別子： JGD2000/ (B,L) (世界測地系)

※世界測地系による定義を原則とするが、既存データの活用等から日本測地系で定義する必要がある場合は、以下の参照系識別子を用いるものとする（日本測地系に基づいて設定したメッシュを用いる場合等）。

参照系識別子： TD/ (B,L) (日本測地系)

5.2. 時間参照系

参照系識別子： GC/JST

6. データ品質

ここでは、災害リスク情報が満たすべき最小限の品質要求および評価手法を示す。

論理一貫性・書式一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラー割合：0%

論理一貫性・概念一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	XML スキーマに対するデータ集合内の矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合と XML スキーマを比較し、妥当な符号化が行われていることを、検査プログラムによって検査する。 一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。
適合品質水準	XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

論理一貫性・定義域一貫性

データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性インスタンスの値が応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合をエラーとし、その割合（誤率）を計

	<p>算する。</p> <p>誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>属性の値が、主題属性の定義域および地物の空間・時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。</p> <p>一つ以上のエラーがある場合、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	<p>地物属性の定義域一貫性エラーの割合：0%</p>

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

■書式名称

地理マーク付け言語 (GML)

■符号化仕様

XML スキーマは、JPGIS Ver. 2.1 附属書 12 (ISO19136) の符号化規則に従う。応用スキーマが参照する標準スキーマ (基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等) は、次の URL に掲載されている XML スキーマを使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

XML スキーマで使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとする。

名前空間 : <http://www.cao.go.jp/schemas/mieruka/gml>

名前空間接頭辞 : cao

■タグ名対応表 パッケージ名称 : 発災時道路パッケージ

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
道路被害		DisasterDamageOnRoad
	発生日時	occurrenceTime
	発見者	informerInformation
	通行可否	restorationStatus
	被害内容 (人身)	sufferer
	被害内容 (人身) 詳細	suffererText
	被害内容 (物損)	damage
	被害内容 (物損) 詳細	damageText
	施設名	facilityName
	路面被害状況	roadSurfaceDamage
	路盤被害状況	roadBoardDamageConditions
	路肩被害状況	shoulderDamage
	法面被害状況	slopeFaceDamage
	橋梁被害状況	bridgeDamage
	擁壁・護岸被害状況	retainingWallRevetmentDamage

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	横断施設被害状況	crossingFacilityDamage
	トンネル被害状況	tunnelDamage
	道路付属物被害状況	roadAccessoriesDamage
	共同溝被害状況	commonDuctDamage
	盛土被害状況	bankDamage
	その他被害状況	otherDamage
	被害延長	roadDamageLength
	被害幅員	roadDamageWidth
	被害面積	roadDamageArea
	被害土量	roadDamageSoilVolume
	道路通行障害物	roadObstruction
	沿道火災	roadSideFire
	災害種別	disasterType
	災害の概略	disasterOutline
	関連情報	roadDamageText
	復旧	restoration
復旧対応		EmergencyRestoration
	復旧対応状況	emergencyRestorationConditions
	復旧見通し	restorationOutlookText
	資機材調達状況	materialArrangement
通行規制		TrafficRestriction
	登録日時	registrationDate
	規制状態	restrictionStatus
	規制開始日時	startDate
	規制解除日時	endDate
	規制内容	restrictionContent
	規制内容詳細	restrictionContentDetails
	規制車線種別	lanetype
	規制車線数	restrictionTotalLanes
	車両制限値有無	carLimit
	規制車種	trafficRestrictionVehicleType
	車両制限（高さ）	carHeight
	車両制限（幅）	carWidth
	車両制限（重さ）	carWeight

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	時間帯規制開始時刻	timeRestrictionStarTdate
	時間帯規制解除時刻	timeRestrictionEndDate
	平日・休日・祝日種別	dayType
	規制解除見込み	restrictionReleaseOutlook
	規制解除見込みメモ	releaseOutlookText
	その他特記事項	contetntDetailText
	原因	cause
通行規制原因		TrafficRestrictionCause
	規制原因	restrictionCause
	規制原因詳細	causeDetails
	規制原因メモ	causeDetailText
渋滞		TrafficJam
	渋滞状態区分	statusCode
	渋滞状況	trafficJamLesStatus
	渋滞車線種別	laneType
	渋滞予測	trafficJamForecast
	渋滞通過時間	trafficJamTransitTime
	渋滞発生期間	startDate
	渋滞原因事象	causeOfTheTrafficJam
	渋滞原因事象詳細	causeOfTheTrafficJamDetail
迂回路		Detour
	道路種別	detourRoadType
	路線番号	detourRouteNumber
	路線名	routeName
	迂回方法	detourInformationText
	気象状況	weatherCondition
	路面状況	roadSurfaceCondition
道路管理者		RoadAdministrator
	管理機関コード	agencyCode
	管理者団体コード	organizationCode
	事務所コード	bureauCode
	事務所名	bureauName
	出張所名	officeName
	連絡先	contactInformation

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
道路路線		RoadRoute
	道路種別	roadType
	路線番号	routeNumber
	本線複線区分	mainSubRoute
	複線番号	subRouteNumber
	路線名	routeName
	本道測道区分	laneDivision
	現旧区分	roadClassification
	路線方向区分	routeDirectionCode
	方面名称	routeDirectionName
	緊急輸送路の種別	emergencyTransportationRoadType
	車線数	numberOfTrafficLanes
	迂回路の有無	detourExistence
	管理者	administrator
道路区間		RoadSection
	場所	location
	区間延長	sectionLength
道路地点		RoadPoint
	地点	position
	起終点・代表点区分	pointType
	距離標	distanceMark
	地先名称	locationName
	目印	landmark
有無コード		ExistenceType
規制状態コード		RestrictionStatusType
緊急輸送道路種別コード		EmergencyTransportationRoadType
曜日区分コード		DayType
本線複線区分コード		MainSubRouteType
本線測道区分コード		LaneDivisionType
地点区分コード		PointTypeClassification
曜日区分コード		DayType

■タグ名対応表パッケージ名称：発災時鉄道パッケージ

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
鉄道路線		RailwayLine
	鉄道会社名	railwayCompany
	鉄道会社コード	railwayCompanyCode
	路線名	lineName
	路線コード	lineCode
	路線方向区分	boundType
	方面名称	direction
駅		Station
	駅	station
	駅コード	stationCode
	駅名	stationName
鉄道区間		RailSection
	区間	section
	区間起点駅名	startStationName
	区間起点駅コード	startStationCode
	区間終点駅名	endStationName
	区間終点駅コード	endStationCode
運行状態（直前）		BeforeRailStatus
	運行状況（遅れ）	delayOfTrains
	運行状況（運転休止）	trainServiceCancellation
	運行状況（運転中止）	trainServiceStoppage
	運行状況（運転見合わせ）	operationSuspension
	運行状況（その他）	otherConditions
	運行状況メモ	trafficConditionsNote
	路線の対象範囲	lineSection
	対象列車の種類	trainType
	対象列車名	trainName
	発生原因	cause
運行状態（現在）		CurrentRailStatus
	発表日時	announceTime
	運行状況（平常通り運	serviceOnSchedule

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	転)	
	運行状況 (遅れ)	delayOfTrains
	遅延時分	delayTime
	運行状況 (運転休止)	trainServiceCancellation
	運行状況 (運転中止)	trainServiceStoppage
	運行状況 (運転見合わせ)	operationSuspension
	運行状況 (運転再開)	trainServiceRestoration
	運行状況 (直通運転中止)	throughServiceSuspension
	運行状況 (特定の列車電車中止)	somePartOfTrainTypeSuspension
	運行状況 (女性専用車両中止)	womenOnlyCarriageServiceSuspension
	運行状況 (ダイヤ乱れ)	trainSchedule
	運行状況 (折り返し運転)	turnBack
	折り返し駅名	turnBackStationName
	折り返し駅コード	turnBackStationCode
	運行状況メモ	trafficConditionsText
	路線の対象範囲	lineSection
	対象列車の種類	trainType
	対象列車名	trainName
	復旧見通し	restorationOutlook
	振替輸送の有無	alternativeLineType
	振替輸送路線名	alternativeLine
	振替輸送路線コード	alternativeLineCode
	発生原因	cause
原因		Cause
	発生時刻	occurrenceTime
	原因内容コード	causeCode
	原因内容詳細	cause
	被害	railwayDamage
鉄道被害		RailwayDamage

クラス名	属性・関連役割名	タグ名
	被害内容	contentOfDamage
鉄道会社コード		RailwayCompanyCode
路線コード		LineCode
駅コード		StationCode
原因内容コード		CauseCode
対象路線区分コード		LineSectionType
復旧見通し有無コード		RestorationOutlookType
振替輸送有無コード		AlternativeLineType
路線方向区分コード		BoundType
運行状況コード		ServiceStatusType

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2. 配布媒体情報

■ 単位

データ整備単位による。

■ 媒体名

オンライン

8.メタデータ

8.1.メタデータの形式

災害リスク情報メタデータ仕様プロファイルを採用する。

8.2.記載項目

災害リスク情報メタデータ仕様プロファイルを採用する。

8.3.作成単位

データ整備単位による。

9.その他
